

A 久元 市長

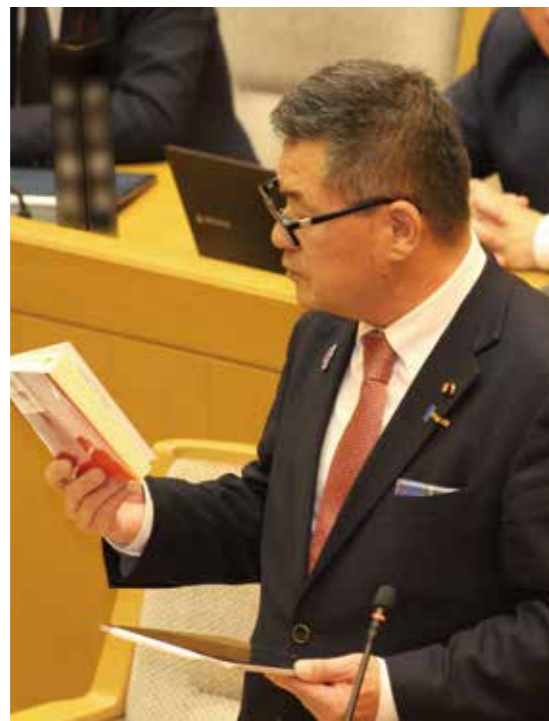
御指摘のとおりだと思います。卸売市場の再整備には多額の公費を投入しておりますので、最近の状況の変化によりまして、資材費やあるいは人件費の高騰で事業費が膨らんでいることにつきましては、しっかりと議会に対しまして説明をさせていただき、着実に進めさせていただければと思います。

その上で卸売市場の魅力がいかに発信をするのか、そして、市民の皆さんにも市場に来ていただく、神戸に来られる来街者の方々にも来ていただくというような取組を従来以上に行っていくことが必要です。そして、地域のにぎわいづくりに寄与するなど、この市場の存在が周りに波及していくというような視点がより一層重要になってきているのではないかと思います。これまで小・中学校や地域団体、夏休みの親子を対象とした見学会、定期的な料理教室、模擬競りやマグロの解体実施などを通じて、魚食を普及させる魚河岸デーなど、年間を通じて実施をしております。年間1万2,400人程度の方々へ御来場をいただいております。非常に近接をしておりますイオンモール神戸南とは、市場の新鮮な食材を市場の近くで購入できる場として連携をしております。市場内の飲食店舗と併せて市場ブランドを生かした集客につながっております。周辺施設である県立兵庫津ミュージアム、こべっランドとも連携し、お互いのイベントの魅力アップを図り、地域への誘客につなげていく取組を今後さらに強化していきたいと存じます。

5 境界知能にある生徒たちの理解促進と対策について

Q 大井としひろ委員

最近、IQが70以上85未満の位置にある知的障害と平均の狭間にある境界知能に位置する人たちの存在が注目されております。境界知能に当たる人は、日本人の約14%に当たる1,700万人が該当し、学校現場においては35人クラスだと約5人いるとされております。支援が必要な知的障害者でもないことから障害とは診断されず支援に結びついていない。そもそも、一見して障害があると分かりづらいことや、境界知能という存在への認知度の低さから、学校や家庭で見落とされてしまうことが多いとされております。勉強が苦手、コミュニケーションが苦手、運動が苦手、忘れ物をしがちといったことが、本人の努力不足ということで片づけられてしまい、本人の生きづらさにも結びつき、不登校に陥ったり、社会に出てからもその生きづらさが続いてしまっているということでもあります。



さきの局別審査において、境界知能への対応として、学校現場における教科学習の土台となる記憶、言語理解、注意、知覚、推論、判断といった5つの認知機能を向上させるのが目的であり、ゲーム感覚で楽しみながら取り組むことができる認知機能向上トレーニングの導入についてお伺いしたところ、教育効果や取組状況などについて通常学級で導入している自治体の情報なども収集して十分に研究を行っていることから喫緊の課題であり、アセスメントとしての役割も期待できることから、早期に導入を行うべきでないか、改めて御見解をお伺いいたします。

A 長田 教育長

児童・生徒の学習支援には、認知機能の向上が重要です。一部の自治体では認知機能トレーニングプログラム「コグトレ」を導入しており、これは記憶、言語理解、注意などの要素を強化するトレーニングです。

本市におきましては、これまで学びにくさのある児童・生徒を含めまして、支援を必要とする児童・生徒の状況把握、あるいは支援の方法ということにつきまして、研修等を通じて教員が理解を深めてまいりました。例えば児童・生徒の学習や生活での困り感、書いた文字の誤りや特徴といったようなことなどから背景にある特性を把握をして、そしてその特性に応じた具体的な支援方法を学んで実践に生かすと、そういう研修も行ってあります。

児童・生徒の学習課題の取組状況や、また授業中の様子というものを丁寧に把握しながら、1人1人の状況に応じた学習支援、こういうことに力を入れて取り組んできたところがございます。

この他の自治体の取組につきましても情報を収集して、そしてこの認知機能の向上ということについて幅広く研究を進めていきたいというふうに考えております。



Q (再質問) 大井としひろ委員

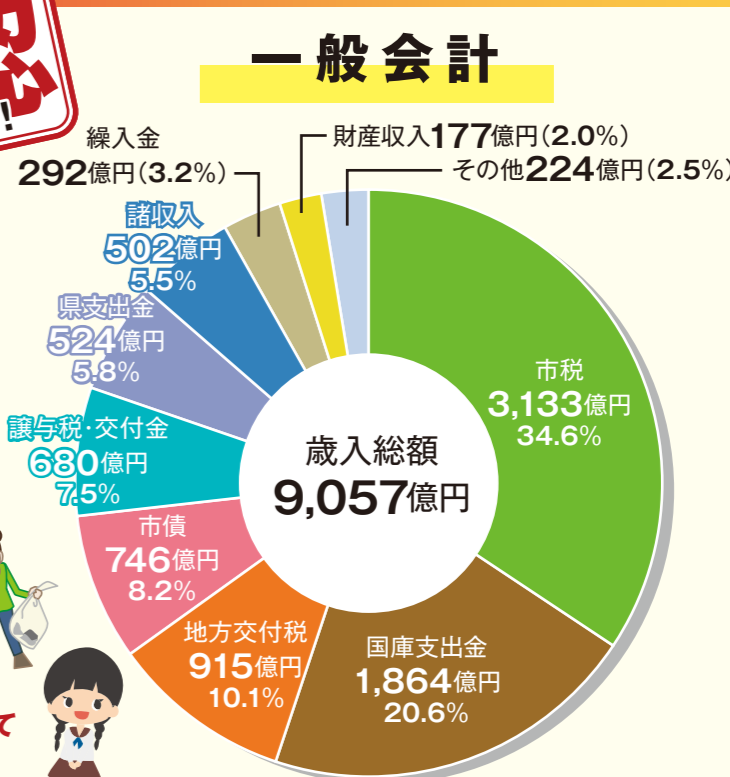
今回のコグトレへの質問するに当たりまして、教育委員会の予算特別委員会で、岩谷議員が質問しました。岩谷委員からこういう「境界知能の子どもたち」という宮口幸治先生の本を3日ほど前にお借りして、3日間で全部読み通させていただいたんですけど、大変難しい。この辺のところというのは大変微妙なところもあるのかなと思いつつ、こういうコグトレっていうんですかね、こういうトレーニングっていうのは、よくよく読ませていただくとそういう境界知能の子供たちだけでなく、小学生の子供たち全員がいろんなところで5分かつ10分程度でできるようなトレーニングのようなので、ぜひそういうものも取り入れていただいて、子供たちの集中力を高めるためのそういうトレーニングもいいのかどうか読みながら思っていました。

一応まとめさせていただきますけれども、立命館大学の宮口教授が開発されました認知機能向上プログラムであるコグトレの活用によりまして、生徒にとって自身の得意・不得意を認知することで、得意な分野を生かし、苦手な分野を克服する手立てを学ぶことにつながります。また、教員にとってもメリットがあり、子供の実態が見え、支援の方法が明確になるなど、既に取り入れている自治体も複数あると聞いております。授業開始前5分かつ10分程度の教室で使えるコグトレを実施されており、様々な効果が出ているとのことでした。試験的でも結構なんで、早期に取り入れていただきたいということを要望させていただいて、私の質問は終わりたいんですけども、最後に、長田教育長におかれましては、2018年から6年間、神戸の教育の難しいかじ取りをされておられました。誠にありがとうございました。お礼を申し上げて、また大所高所から、いろんな意味で神戸の教育に御助言をお願いいたしまして、私の質疑を終わらせていただきたいと思います。どうもありがとうございました。以上です。

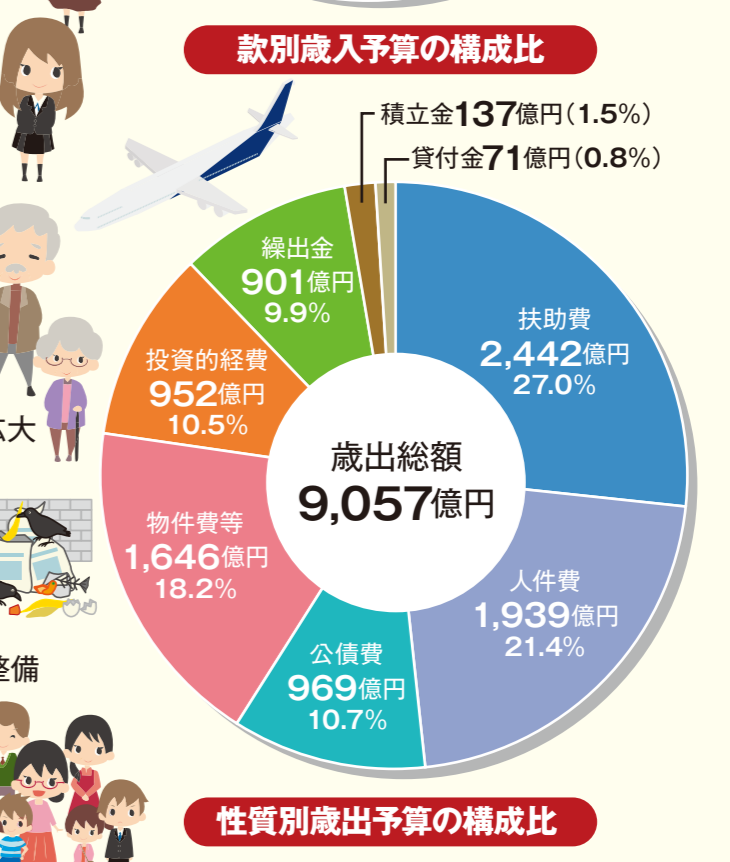
YouTube channel information for 大井としひろ (Ooi Toshihiro), including a QR code and social media links.

日本維新の会 令和6年度予算を承認しました!

【承認理由】新年度予算では我が会派が予算要望した、都市の成長、子育て・教育、高齢者・障害者福祉や健康に関する多くの項目に予算がつきました。また、持続可能な自治体経営、住み良い安全・安心のまち創りなどの期待する予算となったため令和6年度予算を承認いたしました。昨年末、神戸市は、働く女性向けウェブメディア「日経×woman(クロスウーマン)」と日本経済新聞社の調査「共働きで子育てしやすい街ランキング」では、全国で4位、関西でトップとなりました。今後も市民目線に立った市政改革提案を進めていきます。



- 9 路上喫煙対策について
10 障害者施策、困窮家庭の学習支援の充実について
11 児童虐待防止対策について
12 子育て支援について
13 神戸空港国際化について
14 介護予防・フレイル対策について
15 クリーンステーション管理支援について
16 駅周辺のリノベーションについて
17 大阪・関西万博について



神戸市会議員の期末手当アップ 維新は反対!!

令和5年12月6日11月議会において自民党・公明党・こべ未来より上程されました、議員提出議案第8号「神戸市会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例」について日本維新の会は反対を行いました。

Table showing the voting record of various political parties on the salary increase proposal.



Contact information for 大井としひろ (Ooi Toshihiro), including email, website, and social media links.